

SATREPS特別セミナー

# 「パーム油産業の未来：バイオマス 利用と持続可能性への取り組み」

定員100名  
参加無料

日時

2023年

11月14日



受付開始 12:30

13:10~16:40

場所

**OTEMACHI ONE**

千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi One  
三井物産ビル4F Conference room 07+08

講演1

国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター プロジェクトリーダー  
小杉 昭彦 氏

「SATREPSから社会実装へ・パームバイオマス活用の第一歩」

講演2

公益財団法人 自然エネルギー財団 上級研究員  
相川 高信 氏

「脱炭素化に向けたバイオエネルギーの役割：持続可能なパーム  
バイオマスへの期待」

講演3

立教大学 21世紀社会デザイン研究科 特任教授  
不二製油グループ本社 ESGアドバイザー  
河口 眞理子 氏

「パーム油産業の持続可能性を考える」

休憩

ネットワーキング・コーヒーブレイク

総合  
討論

パネルディスカッション、質問、意見交換

参加登録およびお問い合わせ先

参加登録フォーム <https://www.jircas.go.jp/ja/event/2023/e20231114>

申込締切 11月7日（火）17:00

国際農林水産業研究センター 情報広報室

電話：029-838-6708 Email: koho-jircas@ml.affrc.go.jp





国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター プロジェクトリーダー  
小杉 昭彦 氏

「SATREPSから社会実装へ・パームバイオマス活用の第一歩」



SATREPSパームトランク（OPT）プロジェクトの開始から5年、パームバイオマスの本格利用となる社会実装が始まっている。この流れを本格化することは、パーム産業の未来に何をもたらすのか？技術・環境・経済的視点から考える。

公益財団法人 自然エネルギー財団 上級研究員

相川 高信 氏

「脱炭素化に向けたバイオエネルギーの役割：持続可能なパームバイオマスへの期待」



世界のエネルギーおよびマテリアル利用の脱炭素化において、バイオマス利用が不可欠である。アジア地域においては、パームバイオマスを持続可能なバイオマスとして利用可能にしていくことがカギとなるだろう。パーム産業の変革を後押しする意味を込め、主にエネルギーシステム転換の観点から考える。

立教大学 21世紀社会デザイン研究科 特任教授

不二製油グループ本社 ESGアドバイザー

河口 眞理子 氏

「パーム油産業の持続可能性を考える」



パーム油は便利な油として世界的に需要が伸びている。一方でその社会・環境負荷から、持続可能ではない産業として 世界の投資家や消費者から批判的となっている。投資家や消費者の懸念とは何か？EUの政策なども含めて、これからの持続可能なパーム油産業について考える。